

## 取組概要

2026年1月15日

(あて先)  
埼玉県立大学 学長

候補者 所属学科 共通教育科  
氏 名 滑川 道人

私の取組は次のとおりです。

### はじめに

この度は第 12 回道学教師理事長賞の候補者として選出いただき、心より感謝申し上げます。私の授業が多くの学生から支持されたことは、まさに教師冥利に尽きます。

私の担当する授業は臨床医学（内科系）であり、大講義室での「一方向型」講義（「内科学」「脳神経内科学」など）と、少人数対象の「アクティブ・ラーニング」授業（「臨床病態学演習」「先端医療」など）に大別されます。また各学科・専攻の専門科目の特別講義（「老年看護学 III」「精神保健福祉援助演習 II」など）や各専門職国家試験対策（「理学療法特別演習」「作業療法総合演習」など）も担当しています。授業の形態や対象学生により異なりますが、いずれにおいても心掛けている取り組みについて「授業内容」と「授業への心構え」に分けて説明します。

### 1. 授業内容

授業には時間制限があるため、取り扱う内容には制約があります。そこで日常診療で多く遭遇する「common disease」、そして救急対応しなければならない疾患や状況「emergency」については、特に丁寧に教えるよう心掛けています。これらに関しては「わかる」だけでなく「できる」レベルに到達できるよう、いずれの授業においても毎回終了時に小テスト（WebClass で実施。各回 10 題）を実施し、学習定着率を高める工夫をしています。

一方で希少疾患は、特に各専門職の「国家試験出題基準」に含まれるものを中心に、広く浅く扱うよう心掛けています。1 回の授業だけですべてが理解できな

いとしても「聞いたことがある」となれば、それをきっかけに学生は自主学習に取り組めます。

このように総じて「情報量」の多い授業になりがちですが、いずれの場合も丸暗記に頼るのではなく、その病態機序（病因）を理解することの重要性、そして自主学習の重要性を、どの授業でも繰り返し説いています。

以上の内容を教授する上で、以下の3点に気を配るようにしています。

### ①正確な最新医学情報を教えること

臨床現場で使用される医療機器、検査法、治療薬などは日進月歩で進化しています。私の専門領域（脳神経内科学）以外においても知識の遅延がないよう努めています。特に（元同僚である）各領域の専門医とのつながりのおかげで、実臨床の最新知識が集約でき、これらを速やかに学生に教授できています。

### ②「社会とのつながり」を意識すること

社会とのつながりを無視しては、医療は成立しません。学生にはこの点を強調し、保健医療福祉のニュース（例：インフルエンザの流行状況、芸能人の闘病・死亡のニュース、ノーベル医学生理学賞など）を積極的に授業中の話題に取り入れています。これをきっかけに臨床医学の授業に興味を持ってくれる学生が多いように感じています。

### ③「浮きこぼれ」学生対策

通常の授業では易しすぎて物足りず、期末試験（平均70点）でほぼ満点を取るような極めて優秀な学生が、各学科・専攻ともに例年数名ずついます。こういった学生が退屈せず、さらに自主学習を進めていけるよう、講義のところどころに「Advanced Study」と銘打ち、小課題を提示しています（例：循環器疾患の治療（人工心肺）において「PCPSとECMOの違いを調べましょう」など）。一部の学生はこれについても質問してきますので、都度、丁寧に個別指導しています。

また「医学英単語一覧」「主要薬剤一覧」「主要臨床検査値一覧」といった補助教材を作成し、興味ある学生が自発的に勉強できるように工夫しています。

## **2. 授業への心構え**

私自身が授業に向き合う態度として、以下の3点に留意しています。

### ①真摯に取り組むこと

常に更なる高みを目指して真摯に自己研鑽を積むことは、医療関係者にとって非常に大切な心構えのひとつです。医療関係者としての矜持を伝えるべく、すべての学生に対して誠実に向き合いながら授業に取り組むよう努力しています。

## ②「半学半教」の精神

教師から学生へと、知識を一方向的に伝授するのではなく、相互啓発により教師である自分も学生達から多くのことを学んできました。特にアクティブ・ラーニングでは、若者特有の瑞々しい感性で捉えた世界観にはっとさせられることもしばしばあり、加齢とともに知識で凝り固まった固いアタマを、解きほぐしてもらっています。教師になって本当によかったと思う瞬間です。

## ③ユーモアを忘れずに

教員-学生間の権威勾配によって学生が委縮した状況では、学習効果が低下してしまいます。学生の心理的安全性を確保する目的で、時には面白エピソードを織り交ぜて授業をするよう、心掛けています。

特にコロナ禍以降、この点にも注意を払って授業をしてきました。その結果、多くの学生から「授業が面白い」と評価していただき、大変うれしく思いました。

## おわりに

本学に赴任して早9年になりました。これまで多くの先生方や職員の方々のご指導、ご支援のもと、何とか教員として勤めてきました。そして多くの学生と接することで多くの気づきを得ました。

これからも多くの学生、教職員等と積極的に交流し、いろいろ教わり教え合いつつ、自分らしさを忘れずに、人としてさらに大きく成長していきたいと思っています。これからもご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしく願いいたします。